

耳鳴の漢方治療

中医学では、耳は全身の陽気が集まる頭部に位置し、陽気（および陰・血など）の流れが聴覚の維持に重要であると捉えています。そして、耳鳴や難聴には、これらの要素の循環（供給）の過不足を引き起こす肝（胆）・腎・心・脾など臓腑の状態や、循環を阻害する要因が関係します（右図）。

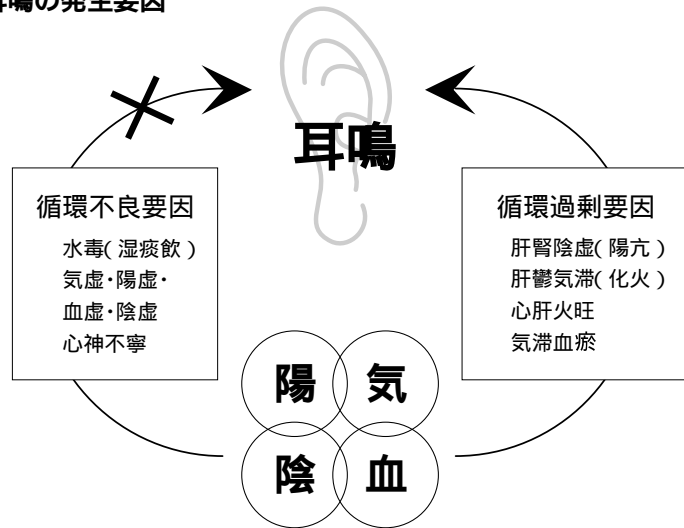
特に、高齢化やストレスの多い現代社会において耳鳴の症状に悩む人は増える一方です。このため、ダメージを受けやすい肝や腎の異常（肝腎陰虚や肝鬱気滞など）による耳鳴に応用される『ジメイ丸』

や『柴胡剤』などの重要性が今後も高まることが予想されます。

なお、耳鳴の漢方治療において、

耳鳴の特徴に加え、全身症状にも目を向けた処方の運用が大切です。

耳鳴の発生要因



ジメイ丸(中国名:耳鳴丸)

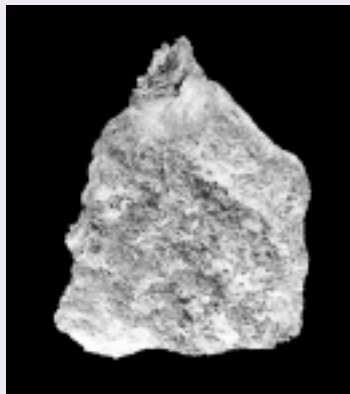
ジメイ丸は、中国名を耳鳴丸といい、その名の示す通り、特に貧血性の耳鳴の治療薬として優れた効きめがあります。ジメイ丸は、漢方処方の方の六味丸にサイコ(柴胡)とジセキ(磁石)を加えた処方で、六味丸体質の方の、貧血性の耳鳴、腰痛、四肢及び腰の脱力感に奏効します。ジメイ丸は補腎薬ですので、少量の食塩を入れたお湯で服みますと、塩分と共に成分が腎臓に運ばれ、一層効果が強まります。

ジメイ丸の構成生薬

ジ	オ	ホ	タン
地	黄	牡	丹
山	茱	茯	苓
山	薬	柴	胡
沢	瀉	磁	石

磁石

中医学において、耳鳴や難聴(耳聾)を改善する効能を「聰耳」、目のかすみを改善する効能を「明目」と表現します。特に、六味丸など補腎薬を用いるような病態(肝腎陰虚など)では、耳鳴と目のかすみの両症状を呈することが多いため、これらを改善する「聰耳・明目」の効能を持つ生薬が配合されます。



〔基原〕天然磁鉄鉱(Magnetite)
〔成分〕四酸化三鉄*(Fe_3O_4)
*酸化第一鉄(FeO)と酸化第二鉄(Fe_2O_3)の混合物で黒色光沢ある結晶または粉末。天然には磁鉄鉱としてまたは砂鉄として産し磁性を示す。水に溶けないが、塩酸に溶ける(胃の塩酸酸性下では溶解)。

〔薬能〕精神神経の過剰興奮や

その代表的な生薬が「磁石」で、ジメイ丸に配合さ不安定を鎮め、耳鳴や目のかすみ、めまいなどを改善。